

令和4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：日本海ブロック

トゲザコエビ

海域	日本海	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 海洋環境部および底魚資源部、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場、島根県水産技術センター
----	-----	------	---

(1) 調査の概要

- ・水産資源研は生物情報の収集、日本海西部および北部における資源調査（分布調査）および各府県調べの漁獲情報の集約を実施。また、日本海北部において標本船調査（体制構築含む）を実施
- ・各府県は漁獲統計の収集を実施

(2) データ収集状況

- 各機関により、令和2年度評価で用いた情報に加え、以下の通り情報収集を実施した
- ・山形県では2020～2021年の月別漁獲量を収集済み
 - ・新潟県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・富山県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・石川県では主要10港の2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・福井県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・京都府では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・兵庫県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・鳥取県では2013～2018年および2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・島根県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み。2007～2018年の月別漁法別漁獲量は精査中
 - ・水産資源研では各府県調べの漁獲量を集約し、青森県、秋田県では漁獲がほぼなく、県調べの集計がないことを確認。また、日本海西部・北部における資源調査ならびに標本船調査（体制の構築を含む）を関係県とともに実施

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和2年度評価報告書を参照
- (2) 年齢・成長：令和2年度評価報告書を参照

(3) 成熟・産卵：令和2年度評価報告書を参照

(4) 被捕食関係：令和2年度評価報告書を参照

(4) 備考

- ・多くの地域で、ザコエビ類やその他エビ類の集計として他種と合算されており、引き続き、精査が不可欠
- ・日本海西部・北部における資源調査や標本船調査でのデータ蓄積がさらに必要